

全釧路情報

2015.8.18 No.16 全釧路教職員組合

矢臼別平和盆踊り大会に、のべ550名 51回目の平和盆踊り大会を、平和を求める新たな一歩に!

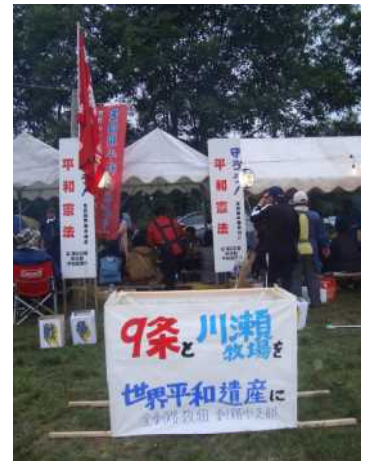
8月7～9日の日程で、第51回矢臼別平和盆踊り大会が開かれました。設営は、5日から行われています。

50周年の節目を迎え1500名の参加で大成功を取めた昨年に引き続き、今年も、前夜祭、盆踊り合わせて延べ550人が集まる大盛況でした。これは、第49回大会を上回る人数です。

テント村の取り組みは、今回はどんぐり保育園からもテントを借りて、スペースを広げて行われました。

全釧路教組からは約20名が参加、根室教組、どんぐり保育園、その他の参加者をあわせて50名以上が集まり、イスが足りなくなるほどの盛況ぶりで、楽しい交流の機会となりました。また、テント村のとなりには恒例となった白糖支部田中先生のショットバーも設けられ、より本格的な飲み物も楽しめました。

開村式は、トランペットのファンファーレで始まり、根室教組中山委員長、道教組楢木書記長のあいさつがありました。夕食交流では、ゲストとの交流がありました。ベトナムから通訳で参加した方もいて、貴重な経験となりました。



駅前で、各地で、戦争法案反対の声をあげています

6日(木)の夕方には、釧路駅前で安保法案反対の総がかり行動の集会が開かれました。数十人の参加がありました。白糠支部の千葉先生もマイクを持ち、集会の始めに参加者とともに歌をうたってアピールしています。

15日(土)の駅前宣伝行動は、お盆の中日にもかかわらず、多くの参加がありました。古川書記長もマイクを持って訴えました。この日は、札幌でも集会があり、白糠支部千葉先生が参加しています。

厚岸でも、毎週土曜日の街頭宣伝行動が継続され、斎藤書記次長もマイクを持って訴えています。夏休み中も、各地で、組合員が「戦争反対!」の声をあげています。



6日(木)駅前総がかり行動



15日(土)釧路駅前宣伝



1日(土)厚岸街頭宣伝



▼「しんでくれた」(谷川俊太郎)～一人の命につながるものへの想像力をもつ

うし
しんでくれた ぼくのために
あいではんばーぐになった
ありがとう うし

ほんとはね
ぶたもしんでくれてる
にわとりも それから
いわしやさんまやさけやあさりや
いっばいしんでくれてる

ぼくはしんでやれない
だれもぼくをたべないから
それに もししんだら
おかあさんがなく
おとうさんがなく
おばあちゃんも いもうとも
だからぼくはいきる
うしのぶん ぶたのぶん
しんでくれたいきもののぶん
ぜんぶ

しんでくれた
谷川俊太郎

「しんでくれた」という題名は、とても衝撃的です。

子どもに授業をするときには、「しんでくれた」を隠して、1・2連を提示します。すると、「うし、ぶた、にわとり…」様々な生き物の命によって自分が生かされていることが分かります。

3連の「ぼくはしんでやれない」は、題名と対照的です。そのわけを想像しながら続きを読んでいくと、「ぼく」につながる社会的なつながりが見えてきます。

人は、他の様々な生き物によって生かされ、そして、いろいろな人とつながりの

中で生きているのです。だからこそ、他の様々な生き物のいのちに感謝し、「ぼくは生きる」のです。一人のいのちの中に世界のいのちがあり、その世界の中にある一人のいのちの大切さを感じます。「一即一切、一切即一」という仏教の世界観、日本人の根底にある世界観が、この詩から感じられます。

戦争できる国づくりを目論む安倍首相は、戦場で散る若い命を「しんでくれた」と思うのでしょうか。戦争で死ぬということは、そこにつながる全てのいのちを殺したのと同じであるという、一人のいのちにつながるものへの切実な想像力を、私たちは大切にしたいと思うのです。